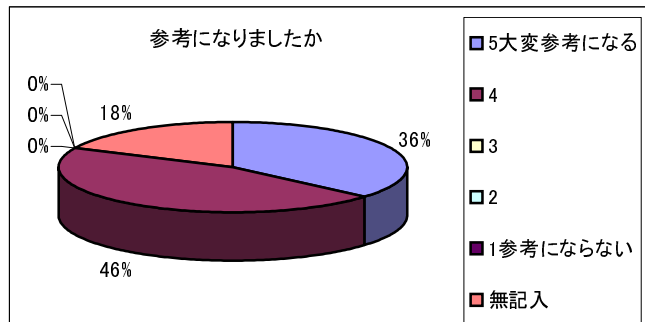


平成23年度放課後子ども教室推進事業「ワクワク学び隊」実践交流会アンケート結果(大学関係・一般)

項目	内容
1 日時	平成24年2月28日(火) 13時から16時30分まで
2 会場	県庁本館6階講堂
3 参加者	
①参加人数	14名(大学関係者12名, 一般2名) アンケート回収: 11名 回収率: 79%
②年齢	○20代…1名 ○30代…1名 ○40代…3名 ○50代…4名 ○60代…1名 ○無記入…1名
4 研修内容	○事例発表 発表者: 大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」代表 講評: 広島大学大学院教育学研究課准教授 曾余田浩史 ○ポスターセッション～展示ブースによる各チームの発表～ 発表者: 大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」参加チーム ○座談会 登壇者: 大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」チーム代表 コメンテーター: 広島大学大学院教育学研究課准教授 曾余田浩史 ○まとめ 講師: 広島大学大学院教育学研究課准教授 曾余田浩史

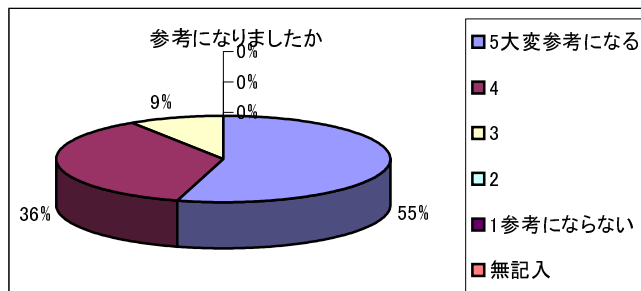
事例発表について

5大変参考になる	4
4	5
3	0
2	0
1参考にならない	0
無記入	2



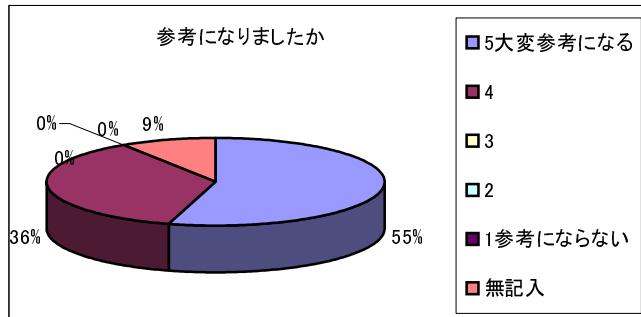
ポスターセッションについて

5大変参考になる	6
4	4
3	1
2	0
1参考にならない	0
無記入	0



座談会について

5大変参考になる	6
4	4
3	0
2	0
1参考にならない	0
無記入	1



■主な感想

○是非、長い期間の継続をお願いします。

○発表者がよく見えなかったので残念でした。学生たちのイキイキとした様子を見てうれしくなりました。地域や子どもたちのためだけでなく、学生が成長できるよい機会になっており、感謝しています。もっと参加学生を送り出したいと思いました。

○昨年のご案内から始まり、学生との連携、そして、本日の交流会と実に温かく懐の深い運営とご対応をしてくださり、大変感謝しています。いち職員としては、参加した学生たちの笑顔と目の輝きにも満足しています。

○・ポスターセッションの時、リストにある番号をポールの上にも掲げておいていただきたい。
・とは言え、大変有意義な催しでした。準備に当たった生涯学習センターの皆様、参加した学生諸君に敬意を表します。

○学生が進行を担うなど、学生中心の企画がよかった。(レジメに会の目的が記載してあったほうがよいのではないかと思います。)

○学生たちが、何を目的として何を学んでほしくて開催していたのかがよくわかった。また、他大学との交流も図れたようで、学生たちの刺激となったと思う。発表する際のポイント等を発表する学生に伝えるべきだと思います。例えば、社会人基礎力育成グランプリや社会人基礎力等を参考にするといいと思います。

○大竹市教育委員会関係の方から安全面への配慮等の指摘があったが、一方で尾道の松原氏から安全管理に関しては、日常行っている部署の方の役割であるとの指摘もあった。「ワクワク学び隊」の活動は、大学生—社会経験知の低いものたち—を育てる意味合いが大きいと思われるため、後者(松原氏)の視点を重視すべきである。大学生側は、このような行事に参加させて頂くこと、機会を与えて頂くことへの感謝の念を持って真摯に取り組むべきであるが、安全面管理を全面的に任せるべきではない。この点に関しては、「わくわく」の主催者側が学生を育てるという観点から配慮すべきことである。大学生を社会人として育てていく大変良い企画であると思うので、今後も本学での支援をしていただきたい。

○この取り組みは、大変価値があります。今後も一層の広がりと深さが持てるよう応援しています。

○大学生の熱意を感じました。とても良かったです。

○・座談会での発言は、いずれも経験に基づいた生きた意見の感じがした。シナリオも必要かもしれませんが、もう少しナマのやり取りのほうが面白かったのでは。
・どの程度の割合でおられるのかわかりませんが、教員を目指す学生と、無関係な学生との違いがあるように感じました。この取り組みがどのあたりを目標にされているのか、よく分からない。学生の参加の動機は様々でいいと思います。